

特定非営利活動法人ふるさとテレビ御中

ふるさとテレビの活動の恩恵と助言を賜り、ささやかながら我が故郷への恩返しとして、先般、鹿児島県立奄美図書館へ私個人の書齋から275冊の蔵書を寄贈させて頂きました。多くの同胞・仲間にも呼びかけて定期的に贈呈する計画を進めております。

添付の新聞記事は私の蔵書贈呈について報じられたもので、ささやかな行為でしたが、大きなニュースとなり、大いに激励された思いがします。

今月の半ば、再度、現地のテレビとラジオ番組に出演して、奄美大島の日本復帰当時の思い出と故郷の振興発展への提言をさせて頂くことになっております。

(奄美大島は終戦と同時(1945年)に日本本土から分離され、1953年12月25日の日本復帰までの8年間、米軍の占領統治下に置かれておりました。沖縄は奄美大島の日本への復帰より20年遅れて日本へ復帰しました。)

今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

2010年9月1日

平 榮光

奄 美 新 聞 2010年(平成22年)5月12日 水曜日

ふるさとへ恩返し

東京奄美会 奄美図書館に本寄贈
平榮光さん

奄美大島出身で東京奄美会相談役の平榮光さん(76)＝東京＝が11日に奄美大島入り。先月13日に275冊の本を寄贈した県立奄美図書館を訪れた。

平さんは名瀬有屋の出身。若干20歳で上京し、シテイ・バンクやバンク・オブ・アメリカなど世界トップの銀行で広報担当を主に活躍した。転社8回という異色の経歴を持ち、「国際ビジネス参謀」転社の技術「アムウェイの本

当の姿などの著書も出している。

今回、同図書館に寄贈した本は自書(4冊)を含め、平さんの人生や考え方などに影響を与え、自己啓発などにも役立てたという国際経済学関連の書物や辞書など275冊。

同図書館の北之園千春館長は「地域の役に立つように大切に使用していただきたい」と感謝の気持ちを述べた。

平さんは「奄美に恩返ししたいという気持ちで寄贈させていた。読書は人生を豊かにするので、1日に80分は読書の時間を確保してほしい。寄贈した本は、主に社会人や学生などに読んでいただけたら」と話した。

図書館3階の社会学コナナに配置されるといふ。

平さんは「奄美に恩返ししたいという気持ちで寄贈させていた。読書は人生を豊かにするので、1日に80分は読書の時間を確保してほしい。寄贈した本は、主に社会人や学生などに読んでいただけたら」と話した。



県立奄美図書館に本を寄贈した平榮光さん—写真左—